



Mental Wellness !

〔学生総合相談通信 No.56〕

発行 : 平成28年5月9日

拓殖大学学生総合支援室

連休はいかがでしたか?十分に休養をとることができましたでしょうか。近頃ではあまり言われなくなりましたが、「五月病」。新しい出会いの緊張の時を超え、長い休養期間から抜け出せなくなってしまう人もいます。その時々に応じたマインドチェンジに心がけ、充実した大学生活に結び付けてください。

Topic 言葉がでない。口ごもってしまうが…、悩んでいる

今回は、学習障害について説明しましたが、発達障害を理解する上で、国立障害者リハビリテーションセンター「発達障害情報・支援センター」サイト内に各障害の定義について解説されています。今回は吃音についての一部を引用・紹介します。【発達障害情報・支援センター(サイト)「発達障害を理解する～各障害の定義～】

吃音(症)(Stuttering)

吃音(Stuttering)とは、一般的には「どもる」ともいわれる話し方の障害です。なめらかに話すことが年齢や言語能力に比して不相応に困難な状態であり、下に示すような特徴的な症状(中核症状)の一つ以上があるものをいいます。

- (1) 反復(単音や単語の一部を繰り返す)(例:「き、き、き、きのう」)
- (2) 引き伸ばし(単語の一部を長くのばす)(例:「きーのうね」)
- (3) ブロック(単語の出始めなどでつまる)(例:「・・・っきのう」)

症状は幼児期に始まるのがほとんどですが、中には思春期頃から目立つようになる人もいます。幼児期からどもりはじめた人の過半数は、学童期あるいは成人するまでに症状が消失したり軽くなりますが、成人後も持続する場合があります。思春期から症状が目立ち始める人は少ないですが、器質的な原因の場合もあるので医療機関などで相談することをおすすめします。

(注)吃音は、世界保健機関(WHO)による国際疾病分類第10改定版(ICD-10)において「通常小児期および青年期に発症する行動および情報の障害」に分類されています。

吃音症についての詳細な説明は、<http://www.rehab.go.jp/ri/kankaku/kituon/>をご参照ください。
※内容一部抜粋

「吃音は1. 発達性吃音、2. 獲得性吃音 に分類されます。吃音の9割は発達性吃音です。詳しい原因はまだ分かっていませんが、体質的要因、発達の要因、環境要因がお互いに影響し合って発症すると言われていています。一方、獲得性吃音には、1. 神経学的疾患や脳損傷などにより発症する獲得性神経原性吃音、2. 心的なストレスや外傷体験に続いて生じる獲得性心因性吃音があります。どちらも発症時期は青年以降(10代後半～)です。」

大学生活に対する不安や悩みなどがありましたら是非一度、総合支援窓口である学生総合支援室へ来室して下さい。随時、専門職である学生主事が相談に応じます。

八王子国際キャンパス	管理研究棟1階	八王子学生総合支援室	〔学生主事3名〕
文京キャンパス	C館2階	学生総合支援室	〔学生主事5名〕
※月～金	9:00～17:00	土	9:00～15:00

各種相談日のご案内【5月】

- 心の健康相談日**—専門医が来校し、心の健康に係わる不安や悩み等への医学的対処法を直接アドバイスしています。

〔文京キャンパス〕	13日(金)	14:30～17:00
〔八王子国際キャンパス〕	12日・26日(木)	13:30～16:00
- 法律相談日**—本学教員による、法律に係わる諸問題についての相談機会を設けています。

〔文京キャンパス〕	12日(木)	11:30～12:30
-----------	---------------	--------------------
- 女子学生のための相談日**—本学女性教員による、女子学生のための相談機会を設けています。

〔文京キャンパス〕	23日(月)	14:30～15:30
〔八王子国際キャンパス〕	25日(水)	12:40～13:20

〔予約制〕 相談希望者は、何れかのキャンパス「学生総合支援室」で事前に予約して下さい。

次回発行予定 平成28年5月30日(月)